

## キャンベラ補習授業校へのお子さんの入学を希望する保護者の方へ

### (キャンベラ補習授業校設立・運営の目的)

キャンベラ補習授業校（小・中学部）（以後「補習校」と略す。）は、キャンベラ在住の日本人の子どもたちに国語と算数（数学）の補習教育を施すために1988年に設立されました。以後一貫して、日本の環境の下で日本の学年相当の授業を提供し、お子さんが帰国した場合にも円滑に日本の教育制度に戻れるよう、学力の維持・向上に努めてまいりました。現在も、日本の小中学校と同等の学力水準を生徒が維持することを目的に、運営委員会・教師一同努力しております。

### (学力の基準)

上記の目的に沿って、補習校生徒には学年相当の最低限の学力が求められます。補習校では、日本の教科書を使用し、授業はすべて日本語で行われます。教科書の内容を把握し、教師・同級生の発言を理解し、自分の意見を述べる総合的な国語力が必要です。また、限られた時間内で多くの内容を習得しなければならないので、積極的な学習態度が求められます。

（\*学年相当の学力への到達度が低く、上級の学年での学習が著しく困難とみなされる生徒には再履修が適用されることがあります。また、新一年生・転入生には、補習校での学習に適格かを判断するための仮入学制度があります。）

### (入学審査)

入学後の補習校での学習を円滑にするため、新一年生になれる皆さんには入学審査の制度があります。これは、聞く・話すといった基本的なコミュニケーションの能力を判断し、教師の参考とするとともに入学前に保護者の方に適切な助言をするのが主な目的です。また、審査に簡単な「ひらがな」の読み・書きが含まれるのは、新一年生と保護者の方々がいち早く補習校の勉強に慣れてもらい、お子さんの勉強と家庭でのサポート体制を整えていただくのが主な目的です。

### (「補習」ということ)

補習校は、毎週土曜日3時限（1時限は各50分）の年間42日（遠足・運動会を含め44日）の授業日しかありません。日本の小中学校の授業時間と比べると、著しく短い授業時間で教師は教科書の全内容を教えなければなりません。従って、学習内容理解のための生徒の予習・復習・宿題の提出は必須です。また、お子さんの勉強を監督するご家庭のサポートが非常に重要です。補習校の「補習」は、普段の学習でまかなえないところを補う、という意味です。ご家庭での学習が中心であることをご理解ください。

### (学習の困難と喜び)

現地校での学習に加えて土曜日にも補習校で学ぶ生徒は、負担が重く、その学習も容易ではありません。また、週一回の短い授業時間、日本語を見・聞き・話す機会のない現地の環境も学習を一層困難にしています。しかし、補習校で学ぶ困難にもそれ以上の喜びがあります。補習校の卒業生・帰国する在學生は、皆一様に学習の困難を克服した自信・学友や教師との暖かい交流・運動会などの楽しい思い出を胸に補習校を旅立ってゆきます。皆さんのお子さんにも、同じような充実感を是非味わってほしいと思います。

キャンベラ補習授業校校長 吉田晴紀